

二〇二三年四月一日(参加者二名)

食初めの子を睨みつけ桜鯛	うつき	そんな目で見ないでをくれ桜鯛	隆松
糺台に尾を跳ねやまぬ桜鯛	うつき	桜鯛触れなば跳ねん魚の棚	明日香
糺やタクラマカンの砂かしら	よし子	石人の顔は哀しげ黄砂降る	うつき
海越えて黄砂日本の土となる	よう子	大渦にもまれて育ちし桜鯛	素秀
糺るや音はすれども機影見ず	隆松	大阪城黄色に染めて黄砂来る	ぼんこ
舟盛りに尾頭ぴくとさくら鯛	やよい	糺れる夕べの街のよそよそし	はく子
つちふりて大和三山なきごとし	明日香	兜煮の目玉が睨む桜鯛	宏虎
風葬の国を越えきし黄砂かな	素秀	紀ノ川の長き鉄橋黄砂降る	よう子
門出の子祝ふ大きな桜鯛	かかし	つちふるや砂漠の民を思ひけり	もとこ
桜鯛跳ねて糺値をあげにけり	わかば	卒業を祝うてつつく桜鯛	せいじ
右近像ま向く方より黄砂来る	よう子	足早に下る尾根道糺晦	豊実
ワイパーが黄砂の窓をくり抜きぬ	なつき	掲げるは優勝力士桜鯛	満天
模糊として沖の巨船や黄砂降る	わかば		

WEB句会みのる選・二〇二三年四月一日